

Empowered JAPAN 実行委員会 緊急ウェブセミナー 講演レポート



Empowered JAPAN 緊急ウェブセミナー

Empowered JAPAN 実行委員会はテレワークをはじめとする働き方改革や学び直しを通した「いつでもどこでも誰でも、働き、学べる世の中へ」をコンセプトに、2018年に発足しました。東京圏および地方都市におけるテレワーク啓蒙イベントをはじめ、多くの自治体や協力会社と共に企業・個人向けテレワーク研修を実施してきました。この度の新型コロナウイルス感染拡大と2020年2月25日の政府基本方針に含まれた「テレワーク推奨」の呼びかけを受け、全国の組織や個人がテレワークを早期に実施するため、実践的な情報をお伝えするための緊急ウェブセミナーを2020年3月17日より連続的に無料開催しています。

カテゴリ：

行政・医療・教育機関向け

開催日時：2020年5月9日

講師：

足立学園中学校・高等学校
Microsoft Showcase school 認定校
情報科主任・技術家庭科主任
Microsoft 認定教育イノベーター
杉山 直輝氏

学校法人 足立学園
足立学園中学校・高等学校



2009年東邦大学卒業。2011年より母校である足立学園中学校・高等学校に奉職。当初は数学の教員として勤務。2013年より情報の授業も兼任する。

2015年より同校の授業改革の一環として、SharePointの活用やAL、反転授業などに取り組み ICT 教育に力を入れる。

2016年に同校が Microsoft Associate Showcase School に認定。2017年より Teams の運用を開始。2018年より Microsoft 認定教育イノベーターに認定。

2020年3月に日本では2校目となる Microsoft Showcase School に認定。また、3月より新型コロナウイルスの影響を受け、遠隔教育の構想、準備、運用、サポートを行う。同校ではGW明けから第3フェーズに突入。

現場教諭が語る！

遠隔教育での Office 365 運用管理の工夫と苦労

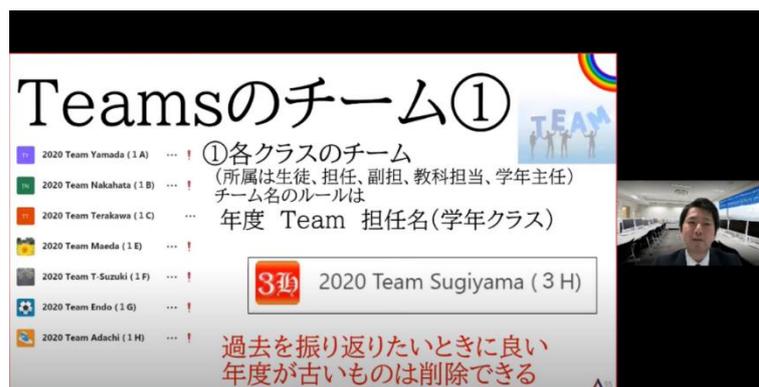
2019年に創立90周年を迎えた足立学園は、東京都足立区にある中高一貫の男子校です。2015年からは、反転授業やアクティブ・ラーニング（能動的学修）の活用による授業改革を始めました。学校の生活に慣れてきた中学2年生 全員が 2 in 1 のタブレット PC 「Surface Go」を購入することになっており、プレゼンテーション練習やプログラミング教育、Forms を利用した小テスト、Teams での校務・教務などを活発に行っています。

今話題のコミュニケーションツールである Teams は導入3年目です。全生徒が各クラスおよび各学年の Team に入り、連絡事項や宿題を受け取ったり小テストに臨んだりしています。

「足立学園はトライアルアンドエラーから学ぶ姿勢を大事にしています。教育現場ではよく議論になる生徒同士のチャットやビデオ会議、Team 作成を禁止していません」

同校の情報科主任で Microsoft 認定教育イノベーターでもある杉山氏は、同校の Office 365 運用管理の考え方を説明します。

「チャットを OK にして大丈夫なのか、とよく聞かれます。しかし、すでに生徒たちは SNS でつながっていることがほとんどで、Teams のチャットを禁止してもあまり意味はありません。クローズな環境の Teams は失敗しても大きなトラブルにはなりにくいので、社会に出る前に正しい使い方を学んでほしいと思っています」（杉山氏）



Empowered JAPAN 実行委員会 緊急ウェブセミナー 講演レポート

杉山氏によれば、意外にもこれまで Teams でのコミュニケーション上のトラブルは特に無く、むしろ生徒同士の教え合いなどが活発化しているとのこと。生徒間での自主的なオンライン勉強会が開催されるなど、教員の想像を超える形での積極的な Teams の活用も行われているそうです。

「ICT の C はコミュニケーションです。生徒と生徒、生徒と教員のつながりと心のケアが今こそ重要なのではないのでしょうか。つながりと心のケアを重要視するために、本校では現在 Web カメラを ON にする形式で生徒との 2 者面談を実施している先生もいます。今後は、親御さんとの 3 者面談も Teams で開催できないかと検討中です」(杉山氏)

新型コロナウイルス感染拡大以前にも、出張先からの担任クラスに向けてオンラインホームルーム (HR) を実践したことがある杉山氏。こういった経験をもとに、2020 年 3 月からスタートした遠隔教育については、3 段階で展開してきたと振り返ります。

「3 月初旬にオンライン HR の練習会を教員向けと生徒向けにそれぞれ行いました。まずは HR をしっかりやろうと思ったからです」(杉山氏) 3 月の時間割は、10 時に「朝のオンライン HR」、13 時に「帰りのオンライン HR」です。その間は各自でオンライン授業を受けたり授業動画を見たりして勉強します。



4 月に入ると、朝のオンライン HR の後は英語、数学、国語の 3 科目をすべて動画で受講してもらうことにし、Forms で小テストも実施しました。すべて動画での受講という形式となった理由には、下記のような理由があったそうです。

「回線状況によってオンライン授業を受けられない生徒もいたため、授業動画だけに切り替えました」(杉山氏)

そして 5 月。理科と社会を加えた 5 科目と、芸術、体育、家庭科でオンライン授業を実施。出席は Forms 小テストへの回答や課題提出状況で判断しました。

「新入生にはまず Office 365 にログインし、クラスの Team に入ることをサポートしました。担任と Teams でつながりさえすれば、担任が Teams 上でフォローに入れるため、その後は問題ないからです」(杉山氏)

失敗を重ねながら、3 段階でオンライン HR や授業動画を実践してきた杉山氏。経験から得たノウハウを披露しました。杉山氏によれば、Teams を使ったオンライン HR の留意点は以下の 6 点です。①会議 (HR) の予定は朝入れる (早すぎると生徒が忘れてしまうし、遅すぎるとギリギリの参加になる)。②朝の HR では Forms アンケート記入で出欠確認をし、生徒の体温と学習時間も把握する。③会議は早めに開始し、生徒を待ち受ける。生徒にはメンションタグで通知して、連絡事項を伝える。④生徒を待っている間はカメラ OFF、マイク ON にして、BGM を流しておく。⑤定刻になったら教員はカメラ・マイク ON、生徒はカメラ・マイク OFF で HR を始める。⑥連絡が終わったら、HR 退出前に一言書いてもらう。

「書いてもらうお題は何でも構いません。私は『コロナに精神的に負けないようにやっていることは?』と投げかけました。外出しているという生徒が多かったら、次の HR で『ちゃんとマスクはしている?』と聞いたりしています。生徒の状況を把握して、コミュニケーションを増やすことが大事です」(杉山氏)

次に授業動画のノウハウです。7 つあります。①動画は短いほうが良い (30 分間などは長すぎる。課題は一題につき動画 1 本が基本)。②一人で見る生徒の気持ちを考えて、テンションは高めで授業する。③動きのない動画は意味がない (書き込みやスライドも含めて、動きを入れる)。④動画は何回でも見られるので、説明はしすぎないでよい。⑤気合を入れて動画を作ると長続きしない。⑥見ている生徒への「呼びかけ」を忘れない (一方通行にしない)。⑦声は少し大きくなぐらいがいい (受信側で音量を大きくするとノイズが入る)。

また、Forms を活用する利点については、「1 回フォームを作れば何度も生徒は好きなときに使って回答できるという利点があるといえます。『同じ教科の担当教員が集まる教科会で情報共有すると効果的です』(杉山氏)

5 月初旬現在、在宅勤務を余儀なくされている杉山氏。マニュアルや Forms の作成や研究に追われ、「自分は教員なのかな?」と思うこともあると冗談を飛ばします。しかし、どのような状況でも子どもたちの学びを止めるわけにはいきません。そのためには、失敗しながらでも情報共有し、遠隔教育を実践することが不可欠です。杉山氏は足立学園だけでなく、全国の教員と力を合わせて、トライアルアンドエラーを重ねながら「より良い教育」を作っていく志を掲げています。